

秋の叙勲・褒章

よろこびの受章者



〈旭日双光章〉
尾島英之さん(84)
柿木町

「受章は身に余る光栄です。医療関係者をはじめ地域の皆さまに支えていただいたおかげです」と感謝される尾島さん。
昭和28年から市内で唯一の眼科専門医として、管内で行われるす

地域医療の充実に貢献

べての眼科検診事業に携わられました。
また、昭和43年からは高梁医師会の要職を歴任。昭和63年から4年間は会長を務められ、その期間、県下医師会の中でいち早く管内の医師会加入医療機関にファックスを配備するなど、迅速な情報配信ネットワークを構築し、地域医療の充実強化に尽力されました。
また、昭和43年から35年間にわたって学校医を務めるなど児童・生徒の健康管理にも力を注がれました。
「これからも地域の皆さまのお役にたてるよう努力し、愛される家庭医として、地域医療の向上に貢献していきたい」と話されています。



〈瑞宝重光章〉
高梁市名誉市民
前・川崎医療福祉大学学長
江草安彦さん(80)
岡山市原

受章は、医療・福祉の研究教育分野での功績。江草さんは、総合医療福祉施設・旭川荘（岡山市）に、昭和33年の創設時から参画。知的、重症心身障害児の療育に打ち込まれ、昭和60年から第2代理

医療福祉の人材育成に貢献

近年は、中国・上海での介護教員の養成など、海外でも人材育成に力を注がれています。
また、市の保健福祉事業にも積極的に協力いただき、たかはし授産センターや、かわかみ療護園をはじめとする福祉施設の整備や人材育成に貢献されています。
平成10年、旧川上町の名誉町民に推たいされ、現在は本市の名誉市民です。

事長に就任されています。
平成3年、川崎医療福祉大学の開学と同時に学長に就任。以来、12年間学長を務められ、医療と福祉を統合する研究に力を注ぐとともに、人材育成にも尽力されました。

風ぐるまフェスタ2006 in うかん

～みんなでつくる うかんの風～

11月26日(日) うかん常山公園

入場無料

～風のステージ～

- 11:00 オープニングセレモニー
- 11:10 市内各地域の郷土芸能
- 13:30 風ぐるま3町交流太鼓
- 14:15 うかん歴史と文化クイズ
- 14:50 三沢あけみオンステージ

※時間は開始予定時刻です。

～風ぐるまおもしろ市場～

日本海から太平洋までの海の幸や山の幸による物産市場

＜駐車場のご案内＞

会場周辺には駐車場がありません。臨時駐車場「有漢地域センター」または「有漢農村公園」をご利用ください。臨時駐車場から会場までは、無料バスを運行します。

■問い合わせ

「風ぐるまフェスタ2006 in うかん」実行委員会
(有漢地域局産業振興課内 TEL 073213)



三沢あけみ



〈黄綬褒章〉
杉本右一さん(73)
成羽町上日名

酒造り一筋

「長年やってきたことが認められて光栄です。まわりの皆さんや家族の支えがあったからこそ」と喜ぶ杉本さん。
昭和28年から半世紀にわたって夏は農業、冬は酒造りに従事。酒造りは先代杜氏で、同じく黄綬褒章を受けた伯父の勧めだったとい

「自分の思いどおりのものができた時が一番嬉しい」と話され、全国新酒鑑評会で最優秀賞の金賞を4度受賞されました。
また、地域での人望も厚く民生委員・児童委員を20年間務められています。
「日本酒の需要が焼酎やビールに押され気味のこのごろですが、日本酒は国酒。国際的にも酒文化を伝えていきたい」と現役杜氏として思いをはせられています。

米洗いから手ほどぎを受け、技術を習得。昭和42年には倉敷市玉島にあった酒造会社の杜氏に抜擢。45年に同市本町の森田酒造に迎えられる、以来同酒造の杜氏として酒の品質を追求してこられました。



「旧片山家住宅」が 国の重要文化財に

旧片山家住宅（成羽町吹屋）の主屋や宝蔵、米蔵など5棟が、国の文化審議会で重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申されました。12月末の官報で正式に告示されます。

旧片山家住宅（成羽町吹屋367）
入館料（吹屋ふるさと村 郷土館と共通）大人 300円 小人100円

す。

国の重要文化財建造物としては、市内で備中松山城（昭和16年指定）に次いで2件目の指定となります。

片山家は、ベンガラ製の製造・販売を手がけて吹屋を代表する商家となり、庄屋も務めた家柄です。江戸時代後期に建てられた住宅は、店舗兼住居の主屋の裏に作業場や倉庫が建ち並び、ベンガラ商家の典型として高く評価されています。

平成14年、所有者から寄贈を受け、旧成羽町、市が改修。主屋を昨年8月から一般公開しています。

現在は主屋以外の保存修理工事を行っており、完了すれば吹屋伝統的建造物群保存地区の中核をなす施設として活用されるものと期待されます。

■問い合わせ 社会教育課文化係

(TEL) ④90833

対向車感知情報板を設置

備中県民局高梁支局が、対向車感知情報板を設置します。

これは、道幅が狭く、対向車とのすれ違いが非常に困難な個所に、対向車の有無を知らせる電光表示板を設置し、安全で円滑な通行を確保するためのもので、県下では初めての取り組みです。

設置場所は県道宇治下原線・羽山第一トンネル（成羽町羽山）の前後で、11月下旬から開始されます。

■問い合わせ 備中県民局高梁支局地域建設室(TEL) ②2858

情報板詳細図



トンネルの反対側に車が通りかかると、センサーが反応し、表示板に「対向車接近」と表示されます。

